

種類別明細書（増加資産・全資産用）記入例

① 資産の種類

各資産に対応するコードを記載してください。

構築物—1 機械及び装置—2 船舶—3 航空機—4

車両及び運搬具—5 工具、器具及び備品—6

※なお、資産の種類によって種類別明細書の用紙をかえる必要はありません。

② 資産の名称等

資産の名称、規格等を記載してください。

③ 数量

該当資産の数量を、単位を付けずに記載してください。

④ 取得年月

取得した年月を記載してください。

年号欄は昭和「3」、平成「4」、令和「5」と記載してください。

また、企業内異動の場合は、原始の取得年月を記載してください。

（その場合、摘要欄に「令和〇年〇月〇〇工場より」と記載してください。）

所有者コード		種類別明細書（増加資産・全資産用）												第二十六号様式別表一（提出用）			
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	③ 数量	④ 取得年月	⑤ 取得価額	⑥ 耐用年数	⑦ 減価残存率	価額			(八)※課税標準の特例	課税標準額	⑧ 増加事由	⑨ 摘要 (平成20年までの耐用年数)		
									年号	年	月					十億	百万
01									0.						1・2 3・4		
02									0.						1・2 3・4		
03									0.						1・2 3・4		
04									0.						1・2 3・4		
05									0.						1・2 3・4		
06									0.						1・2 3・4		
07									0.						1・2 3・4		
08									0.						1・2 3・4		
09									0.						1・2 3・4		
10									0.						1・2 3・4		
11									0.						1・2 3・4		
12									0.						1・2 3・4		
13									0.						1・2 3・4		
14									0.						1・2 3・4		
15									0.						1・2 3・4		
16									0.						1・2 3・4		
17									0.						1・2 3・4		
18									0.						1・2 3・4		
19									0.						1・2 3・4		
20									0.						1・2 3・4		
				⑩ 小計													
<small>注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他のいずれかに○印を付けてください。 「年号」 3：昭和 4：平成 5：令和</small>																	